

佐公第632号
令和3年3月31日

(仮称) 佐倉西部自然公園
合同会議 委員各位

佐倉市長 西田 三十五
(公 印 省 略)

(仮称) 佐倉西部自然公園 第15回合同会議の書面開催について (通知)

平素より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

また、(仮称) 佐倉西部自然公園の環境整備につきまして、日頃よりご尽力をいただき、重ねて御礼を申し上げます。

さて、表記合同会議について、本来であればお集まりいただき会議を実施すべきところですが、新型コロナウイルスについて感染の再拡大の傾向がみられることから、感染防止のため書面による会議の開催といたします。

今回の会議におきましては、事前に団体ごとに会議資料に基づいて協議内容をご説明し、いただいた意見等を取りまとめた結果を報告事項としております。

次回の合同会議の開催につきましては、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、改めましてご連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。

記

- | | | |
|---------|------|-----------------|
| 1. 会議方式 | 書面会議 | |
| 2. 会議内容 | 報告事項 | 各団体との意見交換結果について |
| | | ・資料1 団体意見集約 |
| | | ・資料2 各団体意見交換概要 |

担 当
公園緑地課 管理班
大塚、足谷 ☎043-484-6165
専決者 公園緑地課
都市部長 小野寺 正朋

団体名	下志津・畔田 多目的広場の整備について	公園内民有地の状況について	各団体の取り組みについて	今後の整備について 整備基本計画等の見直し
下志津ふるさと会	意見なし	意見なし	・公園内の草刈りについて、現在業者が行っているが、その一部を地域に委託してほしい。 (→市回答:地域に委託できる部分は、願する形で検討する。)	意見なし
畔田里山協力会	意見なし	・農政課の所管事業では30,000円/10a支払っている。無償借地では、西部自然公園の整備は進まない。 ・予算計画もない事業はありえない。財政が厳しいのはわかるが、予算措置と計画変更を並行して考えていかなければ進まない。 (→市回答:現在の予算状況では有償借地は難しい。施設整備は難しいが、ヒマワリ畑の整備をきっかけとするボランティア活動の拡充など、ソフト事業の取り組みを進めていきたい)	意見なし	意見なし
緑の基金	意見なし	・直ぐに利用予定がない借地について、市はどのような管理をしているのか。 (→市回答:全てではないが、業務委託により草刈りしている。地元の方々に管理を依頼している場所もある。)	・ボランティアの平均年齢が高くなっている。このような状況の中で、今の計画内容がいつまで継続できるのかが、ハードルが高い問題である。 また、リーダーの高齢化により、今後の活動が不安である。 (人材育成等が必要)	・独自に市で駐車場やトイレを作るのは難しいのか。 (→市回答:必要な施設と認識しているが、予算上、整備は難しい)
(仮称)佐倉西部自然公園 支援し隊	・多目的広場は、保留ということでのいいのか。 (→市回答:当面、保留状態にせざるを得ない)	・土地を誰も管理していないし、どうしようかと考えている人がいると思うが、借りることはできないのか。 (→市回答:区域内全ての土地所有者に対して、無償借地の意向確認を進めているが、貸してもいいかどうか判断がつかない状況であるとする。土地所有者に無償借地について理解いただき、借り受けていきたいと考えている。) ・このまま土地を借りられないでいると、ほかの業者などが購入して、ほかの用途で利用するのは。 (→市回答:そのような状況を懸念しており、その点も含めて無償借地に向けた願を行っていく。) ・来年度位には、借りられる土地を見極める必要があるのでは。 (→市回答:市としても同様の考えである。)	・畔田、下志津はいいところなので空き家を探しているが、地元との面識がないため、市が間に入って頂けないか。 (→市回答:協力可能。)	・計画の見直しはどのように行うイメージか。いったん白紙にして一から作り直すのか。 (→市回答:現在の基本計画やイメージ図を基に、今できることを掘り下げて、着実に整備が進むような計画に変更していきたい。) ・重点整備拠点を決めて整備し、それを結んで回遊できるような整備がいいのでは。団体で話し合いをして、重点整備拠点を考えていきたい。 ・市の用地を、何か活用できないか検討していくことは可能か。 (→市回答:市の用地での活動について、提案があれば取り組みは可能) ・駐車場とトイレをセットで設置することはできないか。 (→市回答:現在の財政状況では、予算化は難しい。民間の力を使っていくことも考えなければならない。)
佐倉西高等学校 教頭	意見なし	意見なし	意見なし	意見なし
東邦大学佐倉病院 事務部長	意見なし	意見なし	意見なし	意見なし
東邦大学 長谷川雅美教授	欠席	欠席	欠席	欠席
東京情報大学 原慶太郎教授	意見なし	意見なし	・各団体の活動状況・場所の取りまとめは大事である。 ・ボランティアの高齢化が深刻。20代、30代の参加などすそ野を広げていく努力が必要。 ・もりの幼稚園など若い世代を取り込むための支援をした方がいい。 ・自分達の子供達が遊ぶ場所や学ぶ場所を親御さんたちの力を借りても整備しても良いのでは。	・まずはトイレ等の整備が必要。 ・若い人たちを呼び込むために空き家になっている農家住宅の斡旋なども、今後の整備・活動のきっかけになることも考えられるのではないか。 ・もりの幼稚園を会議に参加させてはどうか。 ・未借地で活動している団体は、地権者と交流はあるのか。 (→市回答:交流はない。市が進める無償借地により接点を作る。)

各団体意見交換概要

支援し隊：西部自然公園を支援し隊
 里山会：畔田里山会
 緑の基金：公益財団法人佐倉緑の基金
 原教授：原教授（会議議長）
 ふるさと会：下志津ふるさと会

1. 市説明事項（各団体共通）及び各団体意見

① 多目的広場整備の進捗状況について

（市説明事項）

- ・平成 30 年度から、土地所有者と用地購入に向けた交渉を実施。
- ◆下志津 2筆のうち栗畑の土地所有者とは、買収価格について折り合いがつかない状況。
 →継続して意向確認を行っているが、今のところ意向が変わる様子はない。
 残る一筆も、共有者の内1名が施設に入り、自宅も引き払われ連絡がつかない状況
- ◆畔田 用地内の民有地間の境界画定が進まず、交渉を行うことができない状況。
- ・交渉が難航している状況から、令和3年度予算では用地購入費の計上が見送られた。

（各団体意見）

- ・多目的広場整備は、保留ということではいいのか（支援し隊）
 →（市）当面、保留状態にせざるを得ない

② 公園予定区域内民有地の無償借地契約の進捗状況について

- ・民有地の無償借地に係る意向確認状況について報告。
 （82名の土地所有者中、50 名を訪問、26 名と具体的交渉（内 3 名と無償借地契約を締結））
- ・将来の土地利用について、どうするか決まっていない、わからないなどの回答が多い。
- ・意向確認時の印象としては、年配になるほど西部自然公園の計画を知らない方が多いという印象を受けた。
- ・市外地権者については、郵送などで対応する予定。

（各団体意見）

- ・土地を管理する人がおらず、どうしようかと考えている人がいると思うが、借りることはできないのか。（支援し隊）
 →（市）区域内全ての土地所有者に対して、無償借地の意向確認を進めているが、貸してもいいかどうか判断がつかない状況であると考えている。土地所有者に無償借地について理解いただき、借り受けていきたいと考えている。
- ・このまま土地を借りられないでいると、ほかの業者などが土地を購入し、ほかの用途に利用するのではないか。（支援し隊）
 →（市）そのような状況を懸念しており、その点も含めて無償借地に向けたお願いを行っていく。
- ・来年度を期限として、借りられる土地を見極める必要があるのでは。（支援し隊）
 →（市）市としても同様の考えである。

・無償借地契約という点に疑問がある。農政課の事業では 10a 当たり 3 万円支払っているのに、西部自然公園は無償では整備は進まない。同じ部落で差が出るのも矛盾している。
(里山会)

→ (市) 市としては現状活用されていない土地をお借りして、公園として活用を進めていきたいと考えている。現在の予算状況では有償借地は難しい。

・予算計画もない事業はありえない。財政が厳しいのはわかるが、予算措置と計画変更を並行して考えていかなければ進まない。(里山会)

→ (市) 現実的に、数年で土地を有償で借りて整備を終わらせることは難しい。重点エリアを定めて整備を行うとか、キャンプ場やアスレチックなどを想定した民間施設を公募により呼んでくるとか、可能なことを考えて計画の見直しを図っていききたい。

なお施設整備は難しいが、ヒマワリ畑の整備をきっかけとするボランティア活動の拡充など、ソフト事業の取り組みも計画に盛り込み進めていきたい。ヒマワリ畑は非常に好評で人を呼ぶ仕掛けができれば地域も活性化すると考えている。

・そもそも意向調査の実施について、里山会は知らなかった。西部自然公園事業を進めるうえで、地元の団体とは密に情報交換をすべきではないのか。(里山会)

→ (市) 情報交換不足については申し訳なかった。今後は、情報共有しながら進めていく。

・借地して何もしていないところは、市はどのようなことをしているのか(緑の基金)

→ (市) 全域ではないが、業務委託により環境整備のための草刈りを行っている。地元の方々に依頼している場所もある。

・未借地で活動している団体は、地権者と交流はあるのか。(原教授)

→ (市) 交流はない。市が進める無償借地により接点を作っていく。

③ 各団体の取り組み状況について

- ・公園予定区域内で活動する 10 団体の活動場所を、マップ上に記載した。
- ・半数近い活動団体から、重点整備拠点を定め、拠点間の回遊を促すような整備方法を要望。
- ・今後、西部自然公園予定区域内で活動している団体に対し、活動場所を提供いただけるよう、土地所有者にお願いをする予定。
- ・畔田地区に直売所が整備され、地元の活性化につながる取り組みが展開されている。

(各団体意見)

- ・各団体の活動状況・場所の取りまとめは大事である。(原教授)
- ・若いリーダーが育っていない。活動者の平均年齢が高くなっている状況の中で、現在の計画に基づく整備がいつまで進められるのかが、ハードルが高い問題である。(緑の基金)
- ・ボランティアの高齢化が深刻。20 代、30 代の参加などすそ野を広げていく努力が必要。(原教授)
 - (市) 若い世代が入ってこられるような活動やニーズを研究しなければならない。
- ・もりの幼稚園など若い世代を取り込むための支援をした方が良い。自分たちの子供たちが遊ぶ場所や学ぶ場所を親御さんたちの力を借りて整備してもよいのでは。(原教授)
- ・畔田、下志津はいいところなので空き家を探しているが、地元との面識がないため、市が間に入って頂けないか。(支援し隊)
 - (市) 協力は可能。
- ・公園内の草刈りについて、現在業者が行っているが、その一部を地域に委託してほしい(ふるさと会)
 - (市) 地域に委託できる部分は、お願いする形で検討する。

④ （仮称）佐倉西部自然公園基本計画の見直し

- ・（仮称）佐倉西部自然公園基本方針・整備基本計画に基づき、整備を進めようと考えているが、公園予定区域の4割を占める民有地の確保（無償借地契約）が難航しており、整備の進捗が芳しくない状況である。
- ・また、市の財政状況が厳しい状況から、予算を投入して積極的に整備を進めることは困難。
- ・基本計画等を見直しを行い、着実に整備を進められる実効性の高い計画にすることも検討しなければならないと考えている。
- ・同時に、現在は活用していない市有地の活用方法も検討する必要があると考えている。

（各団体意見）

- ・計画の見直しはどのように行うイメージか。いったん白紙にして一から作り直すのか。

（緑の基金・支援し隊）

→（市）現在の基本計画やイメージ図を基に、今できることを掘り下げて、着実に整備が進むような計画に変更していきたい。

- ・重点整備拠点を決めて整備し、それを結んで回遊できるような整備がいいのでは。団体で話し合いをして、重点整備拠点を考えていきたい。（緑の基金・支援し隊）

- ・現在の計画は、公園区域内のすべての土地を借りられるという前提で作成しているが、現在の状況では、中々進まないのではないかと。（支援し隊）

→（市）同様の認識であり、計画の見直しも必要と考えている。

- ・独自に市で駐車場やトイレを整備するのは難しいのか（緑の基金）

- ・トイレを設置することはできないか（支援し隊）

- ・まずはトイレの整備が必要（原教授）

→（市）必要な施設だと認識しているが、予算面から設置は難しい状況である。

- ・駐車場とトイレをセットで設置することはできないか。（支援し隊）

→（市）現在の財政状況では、予算化は難しい。民間の力を使っていくことも考えなければならない。

- ・民間業者が簡単に来てくれるとは思えないので、現実的にイメージできるように進めることが必要だと思う。トイレについては、仮設で井戸水が使えるような案を出したい。

（支援し隊）

→（市）案をいただければ検討していきたい。

- ・市の用地を、何か活用できないか検討していくことはできるのか。（支援し隊）

→（市）市の用地での活動について、提案があれば取り組みは可能。

- ・若い人たちを呼び込むためには、空き家になっている農家住宅の斡旋なども、今後の整備・活動のきっかけになるのでは。もりの幼稚園が古民家を求めているので、市も協力してほしい。（原教授）
- ・もりの幼稚園を会議に参加させてはどうか。（原教授）
- ・都市公園として、指定していく予定はないのか。（支援し隊）
 - （市）全体を都市公園としていくのは、無理な状況。できたとしても部分的となる。
- ・（市提案）お金をかけて市が整備をするのが難しい状況であり、例えば民間事業者を誘致して、キャンプ場やアスレチックなどを整備することについて、どう考えるか。
 - ・そのような取り組みも今後必要。自然保護も大事だが、人に来てもらい貴重な自然が残っていることを知ってもらうことが大事。その意味でも人を呼ぶ仕掛けは必要ではないか（緑の基金）
 - ・地元にもメリットがあるならば協力する（ふるさと会）
 - ・自然と調和した整備ならばよいのではないか（支援し隊）

⑤ その他

（各団体意見）

- ・クマガイソウの保護のために、何らかの柵の設置が必要（原教授）
- ・畔田谷津の脇からバイクの乗り入れがある。（原教授）
- ・臼井作の森の道は通れないのか（緑の基金）
 - （市）散策路となっておらず、研究路としての扱いであったと思う。

2. 意見交換実施概要

■公益財団法人 佐倉緑の基金

(1回目) 日時：令和3年2月2日(火) 10:00～11:30

場所：佐倉市役所都市部打合せスペース

出席者：佐倉緑の基金 2名、公園緑地課 3名

(2回目) 日時：令和3年3月12日(金) 14:00～16:00

場所：佐倉市役所社会福祉センター3階中会議室

出席者：佐倉緑の基金 3名、公園緑地課 2名

■下志津ふるさと会

(1回目) 日時：令和3年2月2日(火) 14:00～15:00

場所：佐倉市役所都市部打合せスペース

出席者：下志津ふるさと会 2名、公園緑地課 3名

■西部自然公園を支援し隊

(1回目) 日時：令和3年2月9日(火) 14:00～15:00

場所：佐倉市役所都市部打合せスペース

出席者：佐倉緑の基金 3名、公園緑地課 3名

(2回目) 日時：令和3年3月9日(火) 14:00～16:00

場所：佐倉市役所社会福祉センター3階中会議室

出席者：支援し隊 6名、公園緑地課 3名

■畔田里山会

(1回目) 日時：令和3年2月17日(水) 10:00～12:00

場所：畔田直売所

出席者：畔田里山会 4名、畔田区長、公園緑地課 3名

(2回目) 日時：令和3年3月17日(火) 10:00～11:00

場所：畔田直売所

出席者：佐倉緑の基金 5名、公園緑地課 2名

■東京情報大学 原教授

(1回目) 日時：令和3年3月25日(木) 15:00～16:00

場所：リモート会議にて実施

出席者：原教授、公園緑地課 2名

下志津・畔田多目的広場の整備について

(1) これまでの経過

① 第 12 回～第 14 回合同会議

下志津地区・畔田地区の多目的広場の整備について協議

※第 14 回合同会議決定事項

下志津地区

- ・専用野球グラウンドではなく、様々なスポーツにも使用できる多目的広場として整備する
- ・栗畑の栗の木は伐採するが、斜面林等は基本的に伐採しない。
- ・整備方法については、分科会を設置し検討することを次回の合同会議の議題とする。

畔田地区

- ・次回合同会議以降に協議する。(設置の有無も含め)

(2) 用地買収状況

下志津地区

平成 30 年度より、2 筆 4 名の所有者と交渉を行っているが、価格の折り合いがつかない、所有者本人と接触できない等の理由により、進展が見られない状況。

畔田地区

整備予定部分の境界確定を行おうとしたが、民地同士の境界が確定しない状況。

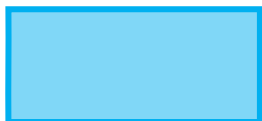
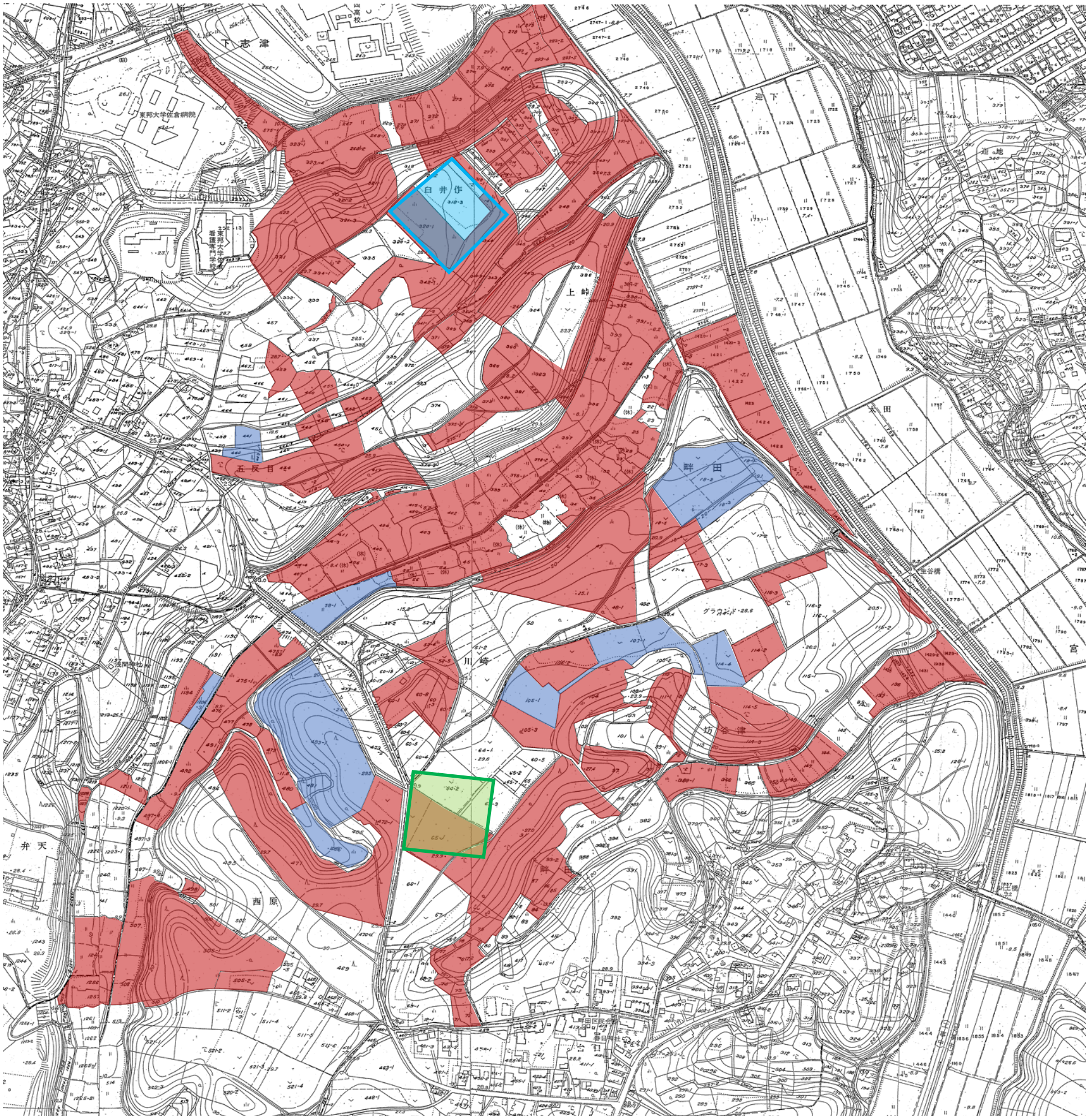
(3) 今後について

下志津地区については、3 年間用地交渉を行ってきたが、土地所有者の事情により購入の見込みがつかない状況。また、令和 3 年度においては用地購入費の予算がつかなかった。畔田地区においても、民地同士の境界が決まらず、その後見込みが立たない状況。

このようなことから、

合同会議における下志津地区、畔田地区、両地区の整備方法の検討は、用地購入の目途が立つまで保留としたい。

(仮称) 佐倉西部自然公園内
下志津・畔田多目的広場の整備予定地



下志津多目的広場整備予定地



畔田多目的広場整備予定地



市所有地



市借入地

(仮称) 西部自然公園内民有地の意向確認状況

令和3年2月末現在

畔田地区	計画	訪問実績	調査実績	意向確認内容		
				見込有	わからない	見込無
訪問調査	31名	17名	9名	3名	4名	2名
訪問拒否	9名					
契約済	2名					
計	42名	17名	9名	3名	4名	2名

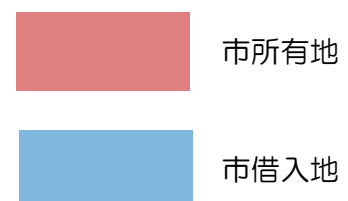
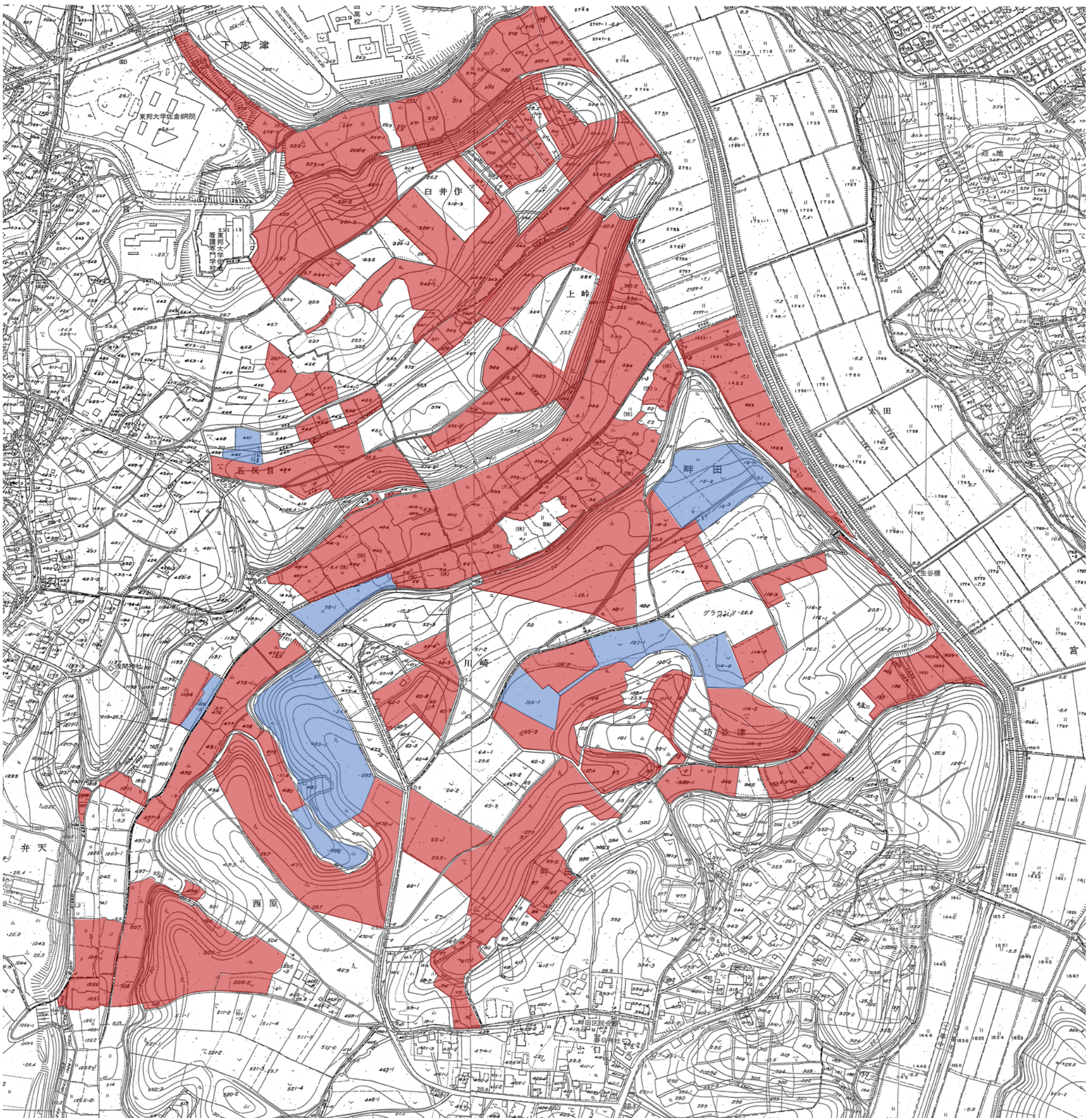
下志津地区	計画	訪問実績	調査実績	意向確認内容		
				見込有	わからない	見込無
訪問調査	37名	33名	14名	3名	10名	1名
訪問拒否	2名					
契約済※	1名					
計	40名	33名	14名	3名	10名	1名

※一部契約2名あり

全域	計画	訪問実績	調査実績	意向確認内容		
				見込有	わからない	見込無
訪問調査	68名	50名	23名	6名	14名	3名
訪問拒否	11名					
契約済※	3名					
計	82名	50名	23名	6名	14名	3名

(仮称) 佐倉西部自然公園内市管理地エリア

令和3年3月



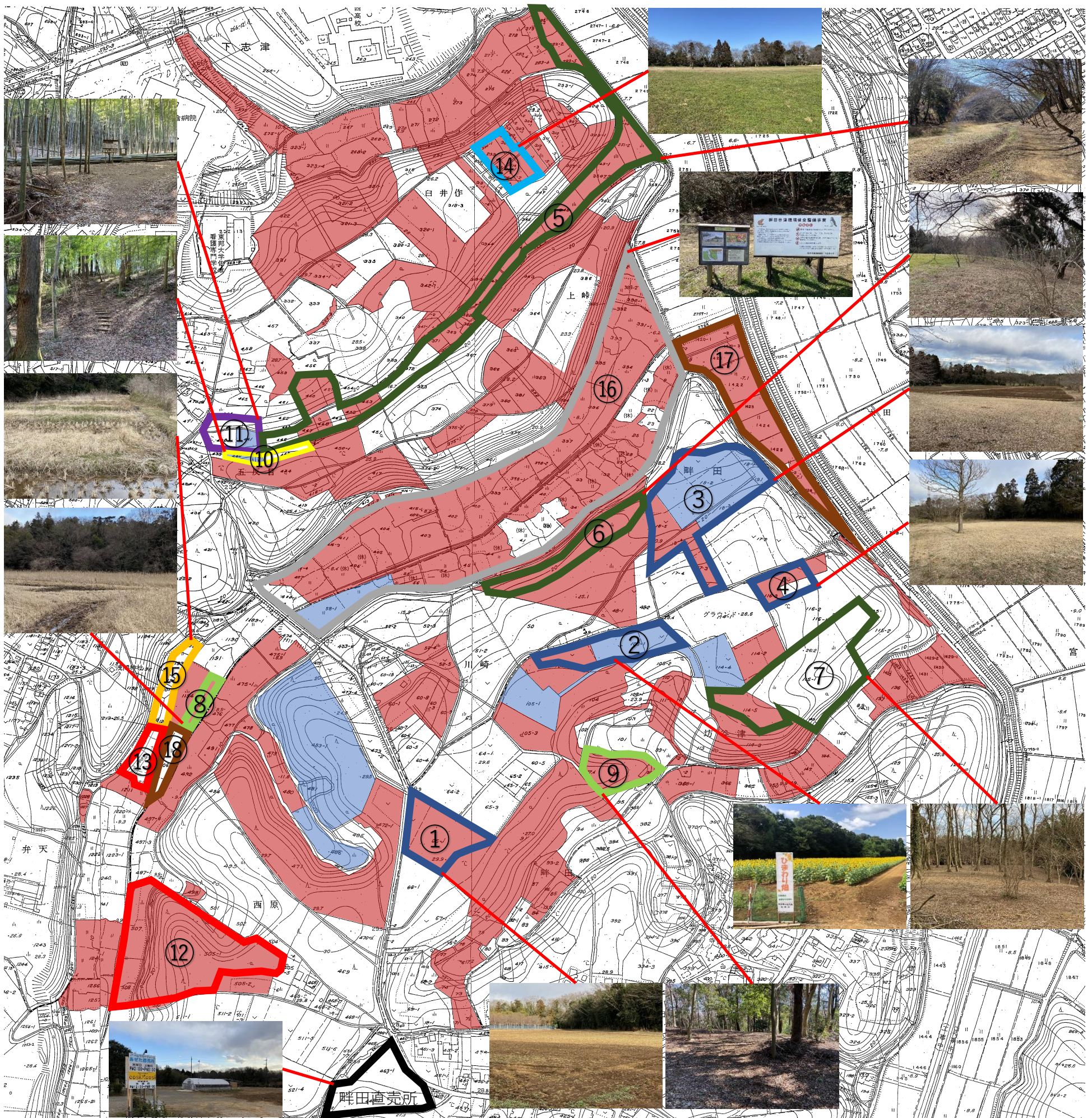
活動団体の取り組み

令和3年3月

活動団体名	場所	主な取り組み内容	打合せ内容	備考
畔田里山協力会	①	ヒマワリ等の栽培管理	無償契約では、進まない。 令和2年度のヒマワリは、好評であった。 長持ちする花を教えてほしい。 通路脇の鉄板壁が支障となっている。	
	②			
	③	草刈り		
	④			
緑の基金	⑤	希少種の保護	重点整備拠点を決め、拠点拠点を整備しそれを結んで回遊できる整備が良いのでは。	
	⑥	草刈り		
	⑦	植林		
畔田竹刈隊	⑧	竹林整備	重点整備拠点を決め、拠点を整備し、拠点が回遊できるようにするのが良いのでは。 団体の話し合いをして重点整備拠点を考えていきたい。 (参考：千葉市大草公園、さいたま緑の森博物館) 拠点には最低でも駐車場とトイレの整備が必要。	総称：支援し隊
(仮) 明るい竹林づくり	⑨	草刈り		
	⑩	竹林整備		
畔田谷津の生命を見守る会	⑪	竹林整備 希少種の保護 自然観察会の開催 畑の耕作		
人と自然をつなぐ仲間・佐倉	⑫	草刈り 希少種の保護		
	⑬	冬期湛水 田んぼの維持		
下志津ふるさと会	⑭	草刈り	道路が狭い。道路整備が必要。 地元にお金が落ちるような制度が必要。 草刈りを行いたい。草刈機が欲しい。	
ハレルヤグループ	⑮	田んぼの耕作	—	
畔田谷津ワークショップ	⑯	田んぼの維持 希少種の保護 冬期湛水 草刈り	—	
農業者	⑰	田んぼの耕作	—	
	⑱			

（仮称）佐倉西部自然公園内活動エリア

令和3年3月



①～④	畔田里山協力会	⑫、⑬	人と自然をつなぐ 仲間・佐倉		市所有地
⑤、⑥、⑦	緑の基金	⑭	下志津ふるさと会		市借入地
⑧、⑨	畔田竹刈隊	⑮	ハレルヤ グループ		
⑩	(仮) 明るい竹林づくり	⑯	畔田谷津 ワークショップ		
⑪	畔田谷津の生命 を見守る会	⑰、⑱	農業者		

今後の整備について

(1) これまでの経過

平成 18 年 8 月 用地取得
平成 19 年 10 月 1 日 「(仮称) 佐倉西部自然公園基本方針」策定
平成 21 年 3 月 31 日 「(仮称) 佐倉西部自然公園整備基本計画」策定
平成 25 年 1 月 16 日 「(仮称) 佐倉西部自然公園個別計画イメージ図」策定

(2) 課題

① 民有地の取り扱い

西部自然公園の根本的課題として、約 4 割の民有地が混在していることがある。民有地部分については、原則、無償使用をお願いしていくこととし、現在、土地所有者と無償貸付契約を進めているが、すべての用地を無償貸付するのは難しい。

一方、公園区域内に民有地があると、高い塀があるヤードや資材置き場など、景観上好ましくない施設が設置される可能性がある。

② 公園区域内の適正管理

地元の方々、区域内で活動する各団体の協力や業者への委託により、草刈りや樹木伐採等の維持管理を行っているが、面積が広いため十分な管理ができていない。

また、市全体の厳しい財政状況により、年々、管理費が削減している。

③ 基本計画に基づく整備

本来、「(仮称) 佐倉西部自然公園整備基本計画」「(仮称) 佐倉西部自然公園個別計画イメージ図」に基づき整備を進めていかなければならないが、市が費用をかけて積極的に整備を行うことはできていない状況。

一方、地元の方々や各団体は、日々の活動の中で維持管理や整備を行い、公園の景観形成等を図っている。

(3) 今後について

① 民有地の整理

民有地の無償借地契約交渉を進め、公園として活用可能な用地を明確にする。

② 活動団体の活動推進

さらなる活動の充実が図れるよう、現在の活動における課題等を整理する。

③ 新たな活動の検討

現在、何も行っていない市有地や借地した民有地で、活用できそうな用地を抽出し、新たな活用方法を検討する。

④ （仮称）佐倉西部自然公園整備基本計画、（仮称）佐倉西部自然公園個別計画イメージ図の見直し

各団体の活動状況図、散策マップ（現況図）、個別計画イメージ図、土地の所有状況図を重ね合わせ検証する中で、整備を確実に進められるよう、実効性の高い計画となるよう見直しを行う。

例：・重点整備区域を定めて、集中的に整備を行う。

・民間事業者活用区域を定めて、民間整備（キャンプ場、アスレチック、プレーパーク等）の公募を行う。

・ひまわり畑や畔田直売所を活用したイベントの検討。

等々

第15回（仮称）佐倉西部自然公園 合同会議に係る意見書

議題ごとに意見あり、意見なしのいずれかの□にチェックし、意見ありの場合は、枠線内に意見を記入してください。

団体名 _____

（１）下志津・畔田多目的広場の整備について

☐ 意見あり ☐ 意見なし

（２）公園内民有地の状況について

☐ 意見あり ☐ 意見なし

（３）各団体の取り組み状況について

☐ 意見あり ☐ 意見なし

（４）今後の整備について

・（仮称）佐倉西部自然公園整備基本計画等の見直し

☐ 意見あり ☐ 意見なし